

おうめ

市議会だより

主な内容

2月定例会のあらまし	
市長提出議案、委員会提出議案の主な内容	1
議会日誌	
令和5年度予算の概要	2~3
一般質問	4~7
審議された議案および陳情の議決結果、全員協議会から特別委員会から、陳情の審議結果	8
令和5年5月招集議会・6月定例会議会予定	

No. 262

令和5年(2023年)4月30日
発行/青梅市議会
電話番号/0428-22-1111(代)

令和4年青梅市議会定例会 令和5年2月定例議会

令和5年度全会計予算を可決しました

○総合長期計画等の推進 ○重点事業への取組 ○持続可能な財政運営の確立



新緑の御岳山ロックガーデン

令和5年2月定例議会は、2月17日から3月22日までの34日間の期間で開催されました。

初日の本会議では、市長の施政方針演説を聴取した後、議案審議が行われました。一般質問は、3月8日、9日および10日の3日間にわたって行われ、20人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(4~7面に要旨を掲載)。

今定例議会に上程された市長提出議案は、条例17件、当初予算7件、補正予算8件、人事2件、その他5件の全39件、委員会提出議案が2件で、いずれも原案どおり可決または同意されました。

また、陳情1件の審議が行われ、不採択となりました(8面を参照)。

市長提出議案の主な内容

令和5年度青梅市一般会計予算(2・3面へ)

令和4年度青梅市一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出予算にそれぞれ21億8800万8千円を追加し、その総額を622億2723万7千円とするほか、繰越明許を9件および市債を5件追加する。

【主なもの】

▽送迎バス等安全対策支援事業補助金▽小学校外壁等改修工事費、便所改修工事費▽中学校空調設備工事費、外壁等改修工事費、便所改修工事費

青梅市成年後見制度利用促進審議会条例(施行日：令和5年4月1日)

成年後見制度の利用の促進に関する法律第14条第2項の規定にもとづき、成年後見制度の利用の促進に関する基本的な事項を調査審議するため、青梅市長の付属機関として、青梅市成年後見制度利用促進審議会を設置する。

青梅市個人情報の保護に関する法律施行条例(施行日：令和5年4月1日)

個人情報の保護に関する法律の施行に必要なる事項を定めることにより、市における個人情報の適正な取扱いを確保することを目的とし、条例を制定する。

青梅市避難行動要支援者の情報の提供等に関する条例(施行日：令和5年4月1日)

災害対策基本法の規定にもとづき、避難行動要支援者に対する避難支援等を実施するための名簿および個別避難計画の作成ならびに避難支援等関係者への情報の提供等に関し必要な事項を定めることにより、避難支援等関係者による災害時の円滑かつ迅速な避難支援等の実施を支援し、もって避難行動要支援者の生命または身体を災害から保護することを目的とし、条例を制定する。

青梅市立学校施設のあり方審議会条例(施行日：令和5年4月1日)

青梅市の地域性および特性に即した学校施設の在り方について調査審議するため、青梅市教育委員会の付属機関として、青梅市立学校施設のあり方審議会を設置する。

委員会提出議案

青梅市議会の個人情報の保護に関する条例(施行日：令和5年4月1日)

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、議会における個人情報の適正な取扱いに関し必要な事項を定めようとするもの

青梅市議会委員会条例の一部を改正する条例(施行日：令和5年4月1日ほか)

青梅市組織条例および青梅市病院事業の設置等に関する条例の一部改正に伴い、常任委員会の所管を改めようとするもの

議会日誌

〔1月〕
30日 議会運営委員会

〔2月〕
6日 議会運営委員会
15日 議会運営委員会

2月定例議会
議会期間 2月17日~3月22日(34日間)

17日 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、市長施政方針演説、議案・陳情審議)

22日 議会運営委員会

〔3月〕
1日 議会運営委員会
本会議(議案の一部訂正)

2日 総務企画委員会
環境建設委員会
福祉文教委員会
福祉文教委員会
予算決算委員会
全員協議会

8日 本会議(一般質問)

9日 本会議(一般質問)

10日 本会議(一般質問)

13日 議会運営委員会
本会議(諸報告、委員会議案審査報告、議案審議)

14日 予算決算委員会
15日 議会運営委員会
16日 本会議(議案審議)

22日 議会運営委員会
福祉文教委員会
福祉文教委員会
本会議(委員会議案・陳情審査報告、議案審議、閉議等)



予算

544億円

— 前年度比1.9% 10億円の増 —



*** 一般会計予算の概要 ***

令和5年度予算は、「第7次青梅市総合長期計画」における「基本構想」に掲げる10年後の「まちの将来像」の実現に向け、「経験と行動力を活かし、愛する郷土・青梅を守り、育て、さらに飛躍させていく」予算とし、「総合長期計画等の推進」「重点事業への取組」「持続可能な財政運営の確立」の3項目を基本方針として編成されている。

歳入歳出予算の総額は544億円となり、これは前年度に比べ10億円、1.9%の増となっている。

歳入の根幹をなす市税は、前年度比5.8%の増で202億5,925万4千円。地方消費税交付金は、前年度比11.7%増の33億2,384万円。地方交付税は、7.1%減の47億9,300万1千円。国庫支出金は、8.3%減の101億3,035万9千円。都支出金は、1.7%増の78億1,365万5千円。諸収入は、モーターボート競走事業

収入の増などにより、44.4%増の38億1,782万1千円。市債は、臨時財政対策債の減などから前年度比36.9%減の5億5,400万円となっている。

歳出を性質別に見ると、消費的経費は、前年度比13億4,138万5千円、3.3%増の423億9,441万4千円。このうち、物件費は、学校管理経費の増などにより、12億1,577万7千円、14.5%の増。扶助費は、生活保護経費の増などにより、4億2,002万7千円、2.3%の増。投資的経費は、前年度比6億5,886万3千円、21.0%減の24億7,650万円となっている。主な要因は、青梅駅前地区市街地再開発事業経費の減である。なお、特別会計への繰出金の総額は、前年度比2億3,294万6千円、4.4%増の55億2,168万6千円となっている。

議案第78号令和5年度青梅市一般会計予算は、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会（迫田晃樹委員長、湖城宣子副委員長）に付託され、3月14日、15日および16日の3日間にわたり審査が行われました。審査は、担当部から補足説明を受けた後、まず歳出について質疑に入り、続いて歳入についての質疑および総括質疑を行った後、採決した結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。その後、本予算議案は、3月22日の定例議会最終日の本会議において反対討論、賛成討論が行われた後、採決した結果、賛成多数で可決されました。

予算決算委員会での主な質疑

歳出

議会費・総務費・消費費

青梅の子育て・暮らし体験事業

市外の未就学児とその家族を対象に、青梅市内で一定期間暮らすことにより子育て・暮らしの実体験を通して、青梅の魅力を認識していただくという事業である。青梅のファンになっていただくことにより、ふるさと納税や森林ボランティアへの参加等の関係人口の増加を目標としている。また、保育園の定員割れ等の問題解消にもつながると考えている。

書かない窓口

住民異動の際に、職員が1問1答形式で質問しながら住民異動届出書を作成するものであり、市民の方には、印刷した届出書の内容を確認した後、署名をいただく。また、住所異動後に必要となる手続の取扱い窓口や手続内容、必要書類などを記載した手続案内票

を連携している窓口にお持ちいただくことで、基本情報が入った申請書が作成できるものである。今後は、市民窓口サービス検討委員会などで連携できる課や手続の種類を増やすことなどを、検討していく予定である。

女性相談等業務委託

概要および周知について

令和4年度から設置している女性相談案内窓口を拡充するため、案内だけでなく、カウンセリングを実施していくとするものである。令和5年4月から2回、年間20回程度実施する予定であり、広報やホームページのほか、青梅市のLINEなどを活用し、気軽に相談いただけるよう周知を図りたい。

民生費・衛生費・労働費

高齢者スマートフォン操作講習会等実施委託

スマートフォンを所有しておらず、興味があるけれど操作が複雑で手が出せないという高齢者100名を対象とし、5か月程度スマートフォンを貸し出すとともに、定期的な講習会を開催し、操作を学んでもらうという事業である。スマートフォンに対する抵抗感を下げて普及につなげることを、高齢者のデジタルデバイドの解消に資することを目的とする。

出産・子育て応援ギフト

内容の詳細を伺う。

妊娠届を出された方に対して出産応援ギフトとして5万円の電子クーポン、出産後に面談をした方に子育て応援ギフトとして5万

円の電子クーポンを差し上げるというものである。現在、東京都が実施している出産応援事業のスキームを活用して、配布を考えている。商品例としては、ベビー用品、家事・育児サービス、家電品など幅広い内容となっている。

太陽光発電システム設計委託

概要を伺う。

市役所本庁舎の道路を挟んだ西側駐車場に、カーポート型の太陽光発電システムを設置するための設計委託をしようとするものである。庁用電気自動車等の充電に使用するとともに、あわせて蓄電池を設置し、余剰電気を夜間・悪天候・停電時等に使用する予定である。

農林水産業費・商工費

土木費・災害復旧費

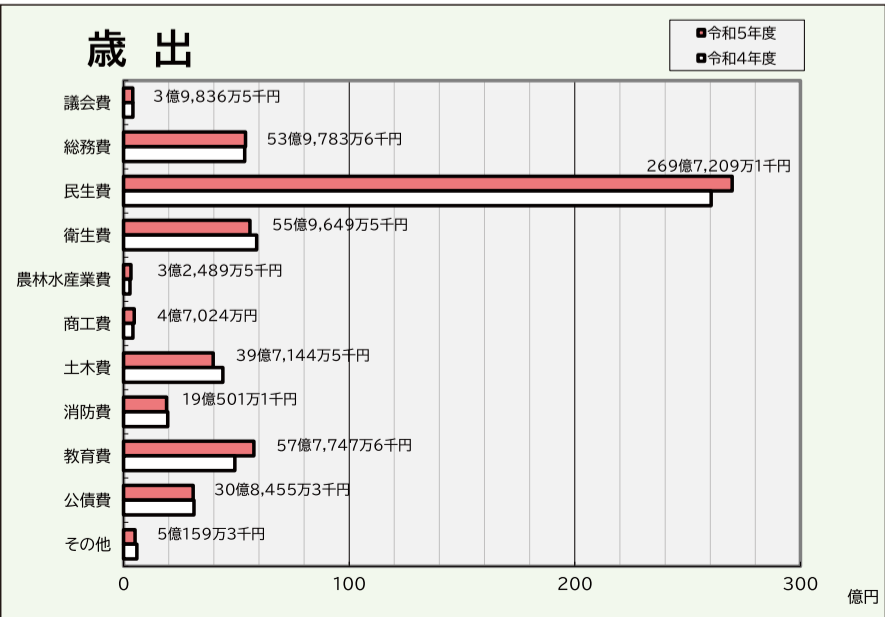
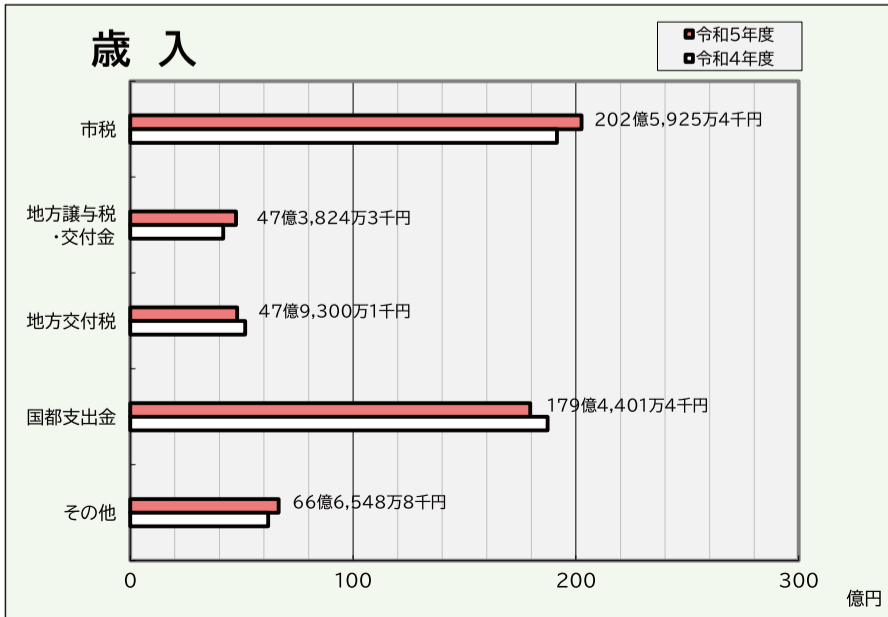
都市農地保全支援プロジェクト補助金

事業内容について伺う。

農地の持つ防災や環境保全などの多面的機能をより発揮させるとともに、地域住民に配慮した基盤整備により貴重な都市農地の保全を図るための補助金である。防災と兼用する農業用井戸、防災協力農地表示板土留め、フェンス、市民農園や農業公園等の整備支援と、農地保全の理解促進を図るために必要な広報活動等の支援事業が補助の対象となっている。令和5年度は、農地所有者から2件の要望があり、防災兼用農業用井戸および土留めフェンスの整備工事を予定している。

中心市街地活性化基本計画

策定後10年の総括



令和5年度一般会計

◆ 財政の指標

- 経常収支比率 97.3% (98.0%)
80%を超えないことが望ましいとされている。
- 実質公債費比率 2.3% (1.8%)
低いほど財政状態が健全なことを意味し、一定の率を超えると起債発行において制約を受けることになる。
- 財政力指数 0.785 (0.797)
1を超えるほど財源に余裕がある。
- 市民1人当たり
予算額 41万8,726円 (39万5,375円)
市税 15万5,939円 (14万6,320円)

※ 令和5年4月1日現在
※ () 内は前年度数値

◆ 各会計の予算額

※ () 内は前年度比伸び率

区分	予算額	() 内は前年度比伸び率
一般会計	544億円	(1.9%)
特別会計	国民健康保険	146億7,200万円 (2.3%)
	後期高齢者医療	38億7,998万6,000円 (7.8%)
	介護保険	112億9,154万2,000円 (Δ0.3%)
計	298億4,352万8,000円	(1.9%)
下水道事業会計	収益	39億8,699万7,000円 (0.2%)
	資本(支出)	25億2,415万8,000円 (Δ4.5%)
	小計	65億1,115万5,000円 (Δ1.7%)
モーターボート競走事業会計	収益	839億4,572万9,000円 (15.1%)
	資本(支出)	2,986万9,000円 (Δ64.5%)
	小計	839億7,559万8,000円 (12.7%)
病院事業会計	収益	193億7,287万7,000円 (5.7%)
	資本(支出)	121億 977万円 (73.3%)
	小計	314億8,264万7,000円 (24.4%)
合計	2,062億1,292万8,000円	(9.9%)

歳入

生活保護費負担金
生活保護費負担金の4分の3は国庫負担というところだが、残り4分の1は青梅市の負担となるのか何うか
答 生活保護費は地方財政計画に含まれており、地方交付税で措置されているが、地方交付税は、基準財政需要額から基準財政収入額を引いた額が交付されるため、全額国により負担されているものではない。

総括質疑

令和5年度予算の総括
市長自ら令和5年度予算をどう総括されているか何うか
答 令和5年度当初予算は、「一経験と行動力を活かして、愛する郷土・青梅を守り、育て、さらに飛躍させていく」予算と位置づけ、編成にあたり市政の各分野に必要な予算措置を行った。脱炭素社会へ向けた取り組みについては、家庭でのエネルギー消費の多くを冷暖房が占めていることから、既存住宅を対象に高断熱窓への改修に対し、助成をする。また、市民向けの電気自動車充電設備を吉川英治記念館に設置し、市民だけでなく、観光にいられた方も御利用いただけるようにする。

校外学習
(体験型英語学習施設)
問 この内容について何うか
答 立川(GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS)で、小学校6年生および中学校2年生が校外学習を行う。学力向上対策の一つであるが、イングリッシュスピーカーという者が、8名につき1名ついて、英語でのアクティビティを体験するものである。

わかぐさ公園野球場防球ネット新設工事
問 工事の内容および日程について何うか
答 三墨線側の延長70メートルのネットの高さを、既設8メートルから14・9メートルにするもので、支柱ごと建て替える工事である。日程は未定であるが、今後、施設を管理している指定管理者、主な利用団体と情報共有をし、調整しながら、利用に支障のない形で進めていきたい。

生活保護費負担金
生活保護費負担金の4分の3は国庫負担というところだが、残り4分の1は青梅市の負担となるのか何うか
答 生活保護費は地方財政計画に含まれており、地方交付税で措置されているが、地方交付税は、基準財政需要額から基準財政収入額を引いた額が交付されるため、全額国により負担されているものではない。

令和5年度の主な施策

- 総務費
 - 釜の淵エリアサウンディング型市場調査委託
 - 書かない窓口の実施
 - 青梅の子育て・暮らし体験事業の実施
- 民生費
 - 高齢者スマートフォン操作講習事業
 - 高校生等の医療費助成
 - 出産・子育て応援ギフトの配布
 - 医療扶助オンライン資格確認の実施
- 衛生費
 - 健康ポイント事業の実施
 - 带状疱疹予防接種の助成
 - 省エネルギー住宅改修補助金の導入
- 農林水産業費、商工費
 - 今寺藤橋地区小規模土地改良事業調査調整業務委託
 - 抛出困難地における森林整備事業委託
 - 創業者応援事業補助金
- 土木費
 - 公園灯のLED化
 - 矢端川今井2丁目調節池整備(3年事業1年目)
 - マンション実態調査委託
- 消防費
 - 消防自動車の更新(8台)
- 教育費
 - 校外学習(体験型英語学習施設)
 - 小学校屋内運動場空調設備貸借
 - 適応指導教室の分室設置に向けた機能拡充
 - 新図書館建築設計委託

かない窓口」により、市民の負担軽減と待ち時間の短縮など、市民サービスの向上に努める。

移住・定住施策による地域振興については、移住・定住促進プランを引き続き推進していくほか、子育て世帯が市内に一定期間「暮らし」機会を提供し、お試し保育園留學と川遊びや農業体験など、様々な体験プログラムに参加していただく、「青梅の子育て・暮らし体験事業」を実施する。

少子化対策と子どもへの施策の充実については、「出産・子育て応援ギフト」を配布するとともに、伴走型相談支援として、新生児および産婦訪問指導の充実を図る。また、医療費助成については、高校生等まで拡充をする。

学校の施設改善では、4年度補正予算で計上した小学校のトイレ改修や特別教室等の空調設置、校舎の屋上防水および外壁改修などのほか、小学校屋内運動場に空調設備を設置する。

また、モーターボート競走

防災・減災、強靱化への取り組みについては、集中豪雨などによる浸水被害への対応として、矢端川今井2丁目調節池や大門川の整備工事を進めるとともに、災害時に避難所となる小中学校の屋内運動場にLPガスによる発電設備を整備する。また、昨年引き続き、消防自動車の更新を図っていく。

公共施設の整備では、長年の課題である東青梅1丁目地内諸事業用地における文化複合施設の整備に向けた基本計画の策定や、新学校給食センター建設に向けた根ヶ布調理場の解体工事、新図書館の建設設計を実施していく。

市の財政状況については、基幹財源である市税収入は、社会経済活動が回復する中、個人所得や企業の収益動向が好転するものと見込まれ、前年度当初予算額を11億円余上回り、コロナ禍前の水準となる202億円余と見込んだ。

事業では、売り上げは順調に推移しており、高グレード競走のプレミアムAGI、クイーンズクライマックスが開催されることもあり、前年度予算から更に増収を見込み、一般会計への繰り入れは10億円余増の29億円とした。

一方、歳出では、社会保障関連経費の増加傾向は続いており、エネルギー価格の高騰に伴う電気使用料の増加も加わり、市の財政構造は依然として厳しい状況が続いている。

令和5年度予算は第7次総合長期計画の初年度として、限られた財源の中で、「美しい山と渓谷に抱かれ、東京に暮らす青梅」の実現に向け、着実に第一歩を踏み出した。今後は青梅市の更なる発展に向けた「まちづくり」を精力的に進めていく所存である。





青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。

一般質問

東青梅1丁目地内諸事業用地の利活用について問う

久保 富弘議員 (自民)



議員 ①市、国、民間の施設の位置関係はどうなるのか。
②ホールは懇談会からの報告書に基づき計画していくのか。
③西多摩地域の児童相談所の誘致に向けて都と交渉しては。
④整備基本計画を含めた建設までのスケジュールを伺う。

市長 ①市の施設は東側、国の施設は西側の保健所に隣接する位置、民間施設は西側の都市計画道路3・5・5号線沿いの位置を予定している。
②基本的には報告書の意見を尊重し整備計画を定めていく。
③今後、都の担当と整備スケジュールや具体的なスペース等について情報共有を図り、可能性について話し合いを重ねていく。
④令和5年度に整備基本計画を策定し、7年度末までに基本設計と実施設計、8年度からの施工に向けた具体的な施設の建設事業に取り組んでいく。

新病院「市立青梅総合医療センター」について問う

議員

①物価高騰により工事費が上昇されたが当初の総事業費275億円余に変化はあるか。
②医師の働き方改革に対する取り組みを伺う。
③診療看護師の活用と今後は。病院事業管理者の決意を伺う。
④病院事業管理者 ①工事費は予備費を充当したが、医療器材等の購入費は物価上昇の影響が避けられない。事業費の追加が必要な場合は、総合病院建替特別委員会にも伺い、検討していく。
②業務の整理やタスクシフトの推進に取り組んできた。医療機能を低下させることなく、さらに労働時間の短縮に努めていく。
③現在4人、最終的には10人程の確保を見込んでいる。医師の負担軽減や質の高い医療の提供への貢献を期待している。
④当院が西多摩地域の基幹病院としての期待に応えられるよう、事業管理者として職務を全力で果たしていく。

「共働き子育てしやすい街ランキング2022」について問う

島崎 実議員 (自民)



議員 ①耐震診断後、補強工事をしていない自治会館の状況は。増額してほしいか。
②工事費への補助を早急に増額してほしいか。
③国や都等へ支援を要請しては。自治会館の安心・安全対策を今後どう支援していくのか。
市長 ①耐震診断を実施した5

市内自治会館の耐震及び耐震補強工事への補助拡大と今後の対応について問う

議員 ①耐震診断後、補強工事をしていない自治会館の状況は。増額してほしいか。
②工事費への補助を早急に増額してほしいか。
③国や都等へ支援を要請しては。自治会館の安心・安全対策を今後どう支援していくのか。
市長 ①耐震診断を実施した5

議員名の () 内の表示は、会派名です。
(自 民) … 自民クラブ
(公 明) … 公明党
(フォーラム) … 市民フォーラム青梅
(共 産) … 日本共産党青梅市議団
(みどり) … みどりのオンブズマン
(立 憲) … 立憲民主党

これからの公園の利活用について問う

阿部 悦博議員 (自民)



議員 ①令和4年度のキッチンカーの実証実験について伺う。
②キッチンカーの今後について伺う。
③令和5年度の風の子・太陽の子広場の整備の予定を伺う。
④公園の指定管理者制度を推進を進めるために公園条例を改正することへの考えを伺う。

市長 ①わかぐさ公園での動物ふれあいフェスタの開催に併せてキッチンカー2台による実証実験を行い、かき氷やジュース、軽食等を販売した。利用ニーズがある一方で、出店スペースの効果的な配置や駐車場の不足の解消が課題であると捉えている。
②わかぐさ公園での本格的な導入に向け、出店スペースや駐車場の課題を整理するとともに、花木園等での実証実験を行い、市内公園におけるキッチンカー導入に向けて、引き続き検証を行っていく。
③駐車スペースの拡充、親水施設や滑り台の設置、遊歩道の整

生産年齢人口の増加を目指した取組について問う

追田 晃樹議員 (自民)



議員 ①市内の就業者の現状とそれをどう認識しているか伺う。
②結婚新生活支援事業の状況は。結婚新生活支援事業を一層充実させては。また、雇用や就業の環境整備への市の考えを伺う。
③若者への投資をより積極的に進めていくべきではないか。
市長 ①令和2年の国勢調査では市内の就業者数は5万6500人余で、平成27年より約5%低下している。生産年齢人口のなかでも若年層の減少について強い懸念を抱いている。
②現時点で10組に対し計230万円を交付する見込みで、予算執行率は当初予算額に対し約8%である。
③所得制限額を引き上げ、また30歳未満の方への補助を倍額とする予定である。就業の場については、青梅IC北側地区の物流拠点整備を進めており、創業者応援事業等さまざまな事業を通じて確保に努めている。
④移住・定住促進プランをはじめ、多くの計画において、若年層に対する投資の要素を有している。各種計画を着実に推進し、未来へ投資することで、本市の持続可能性を高めさらなる発展を遂げるよう鋭意努力していく。

用語の解説

- 注1…PFAS (5ページ・井上議員) 4730種を超える「有機フッ素化合物」の総称。中でも、「PFOA」、「PFOS」は、撥水加工品や泡消火剤等に広く使用されてきた。
- 注2…PSA検査 (5ページ・ひだ議員) 血液検査でPSA値を調べる前立腺がんの検査方法。精度が高く、簡単に受けることができる。
- 注3…起立性調節障害 (6ページ・山内議員) 立ちくらみ、朝起きにくい、倦怠感、頭痛等の症状を伴う自立神経機能不全のひとつで、年齢的には10歳から16歳、性別では、男子より女子で多く発症し、軽症例を含め、小学生の約5%、中学生の約10%が抱える障害。
- 注4…キャラバンメイト (6ページ・山内議員) 認知症サポーター養成講座の企画、立案を担う講師
- 注5…グリーンスローモビリティ (6ページ・みねざき議員) 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。
- 注6…BPR事業 (6ページ・大勢待議員) ビジネスプロセス・リエンジニアリングの略。業務本来の目的に向かって既存の組織や制度を抜本的に見直し、プロセスの視点で、職務、業務フロー、管理機構、情報システムをデザインしなおすこと。
- 注7…PFS (6ページ・大勢待議員) 成果運動型民間委託契約方式。地方公共団体が、民間事業者等に委託して実施させる事業のうち、その事業により解決を目指す「行政課題」に対応した「成果指標」が設定され、地方公共団体が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者等に委託した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動する事業。

優良田園住宅制度と移住促進について問う

山田 敏夫議員 (自民)



議員 ①制度の導入効果を伺う。
②制度を導入する考えに変わりがなくはないか伺う。
③これまでの検討経過と把握した課題を伺う。
④代替としての移住促進策は。市長 ①導入している飯能市では、多くの方が移住され、地域コミュニティの活性化、農業の活性化に大きな効果を上げていくことである。
②青梅市移住・定住促進プランに中核的な施策と位置づけられている。実現に向け東京都等の関係部署との協議等を進めていく。
③東京都との協議では、既存宅地の活用や市街化区域の土地利用を検討するよう見解が示されている。また、市の地域計画に優良田園住宅制度を農業振興策として位置付けられるよう、農業関係者や地域の方々、都との協議を進めることが重要と考えている。
④移住者が人口急減地域へ転入

今、必要とされている「学び直し」の支援について問う

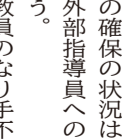
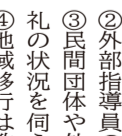
湖城 宣子議員 (公明)



議員 ①リスキリングに対する市の認識を伺う。
②リスキリングについて市はどのような支援をしているか。
③市内中小企業の声を今後どう取り組みに反映させていくのか。
④生活に困窮するシングルマザーに対してリスキリング支援を行っているか。
市長 ①第7次総合長期計画が目指す、基盤産業の振興と地域内企業の活性化につながるものと認識している。
②おうちものづくり等支援事業、先端技術活用強化コミュニティセミナー等で支援を行っている。
③市内企業からはDX人材の育

中学校の部活動の地域移行について問う

議員



①部活動の地域移行についての考え方を伺う。
②外部指導員の確保の状況は。③民間団体や外部指導員への謝礼の状況を伺う。
④地域移行は教員のなり手不足解消や働き方改革につながるか。教育長 ①青梅市立中学校における部活動のあり方検討委員会において検討しており、令和5年度に小学生と保護者にアンケートを行う予定である。
②学校からの申請や教育委員会のホームページで公募により配置している。
③国や都の補助を活用し、教育委員会から支払っている。
④教職員の負担軽減になると考える。今後も、部活動の指導をしたい教職員と部活動の指導を行う時間がない教職員の双方のニーズが満たされるよう慎重に協議を進めていく。

スポーツの発展について問う



寺島 和成議員 (自民)

議員 ①スポーツの発展について、市の考え方を伺う。

②eスポーツ、VR、AR等のスポーツのDX推進の啓発は。③次期青梅市スポーツ推進計画にスポーツのDX推進をどう反映させていくのか。

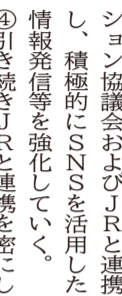
市長 ①市のスポーツ推進計画では、スポーツを楽しむまち・おうちという基本理念のもと、さまざまな形でスポーツを身近なものとして楽しめるよう各事業等を推進している。

②今後のデジタル技術の動向を注視しながら、スポーツイベント等において、体験会や紹介コーナー等の設置を検討していく。③国や都の計画を参考にし、スポーツ振興審議会やパブリックコメントにより広く意見を聞きながら、DXの推進について計画に盛り込むことを検討していく。

新年度に向けての観光誘客促進について問う

議員 ①これまでのJR東日本と連携した取り組みを伺う。②一駅一事業の効果の検証は。③来年度のSNSを活用した情報発信への取り組みを伺う。④東京アドベンチャーラインでの観光誘客に対する意気込みは。市長 ①関東近郊各駅への観光ポスターの掲示、車内トレインチャンネルでの観光PR動画の配信、JRが行うPRやイベントへの協力等を行ってきた。②一定の効果があったと考える

小中学校の環境改善の状況について問う



井上 たかし議員 (共産)

議員 ①体育館へのエアコンの設置工事の状況を伺う。②トイレへの生理用品の設置を検討してはどうか。③プールはメンテナンスをしていくことが重要ではないか。④制服や校則の問題は、現代の水準に即した検討と議論が重要と考えるが教育委員会の見解は。教育長 ①中学校は今年度末、小学校は来年度8月末を目途に完了予定である。災害時停電した際に使用できるよう非常用発電設備を設置する予定である。

②現在、保健室で養護教諭が直接接しており、当面継続するが各校が判断すれば尊重する。③各校の状況、民間プールや共同利用の可否を含め教育委員会として適切に対応していく。④子どもたちが自分たちの学校生活を自分たちでより良くしていきたいという、主体的に取り組ませたいと考えている。

議員 ①6機目のオスプレイが配備された。福生市等に情報が提供されたが青梅市はどうか。②基地の機能強化に反対し、市民の見解を市民に発信しては。③PFASについて、市独自に水質調査が必要では。また、都へ基地への立ち入り調査を要請してはどうか。市長 ①青梅市では情報提供を受けていない。②機能強化については日米地位協定に基づき、国家間の合意により実施されていると認識している。安全対策の徹底を求めている。基地に対する市の考えや対応等の情報発信は、周辺自治体を参考にしていく。③令和3、4年度に調査し、暫定目標値を下回っていた。立ち入り調査の要請は考えていない。

市民生活を守る市の支援について問う

議員 ①市の財政力で国の増税や社会保障削減の影響をカバーするという考え方が必要では。②インボイス制度の導入の延期を国へ求めるべきではないか。③マイナンバーカードの仕組み、危険性を市民に説明すべきでは。④コロナ感染者の交通手段や検査について市独自に対策しては。市長 ①国の増税等に対し、市が独自に補助等を実施する予定はない。国民健康保険等の改定に当たっては、市民生活への影響も踏まえて判断している。②延期を申し入れる考えはない。③仕組みや注意点をホームページに掲載し、カード交付時に利用上の注意事項や紛失時の連絡先等をお知らせしている。④今までも独自支援を実施している。引き続き市医師会等と連携し適切に対応していく。

ネットたまぐーセンターの駐車場について問う



榎 澤 誠議員 (フォーラム)

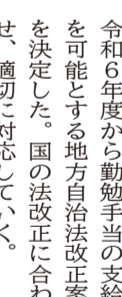
議員 ①駐車場が3分割されており使い勝手が悪く、恒常的な満車状況や有料であることについて現状認識と改善策を伺う。②第1支会内にある市民センターの駐車場だけ有料であるのは不公平ではないか。教育長 ①イベント開催時等に駐車場が混雑していることは認識している。受益者負担の観点から原則有料としている。パンフレットやホームページで近隣の駐車場を紹介し、また、現状では駐車場の面積を増やすことが困難であることから、公共交通機関の利用を呼びかけている。②長時間利用が見込まれることや、駅に近い市街地のため目的外駐車も考えられることから、有料としているが、市民センターの役割もあるため、自治会の会議等では6時間、住民票等の手続きでは1時間無料の対応をしている。

議員 ①市内には準工業地域が多く指定されている。用途地域の指定から長い年月がたち、まちづくりの弊害になっているものもあると考える。都市計画の用途地域指定の経緯を伺う。②用途地域の指定等、都市計画の観点から、将来のまちづくりの考えについて伺う。市長 ①旧都市計画法に基づき、昭和26年に、紡績業等の中小工場が集中している地域は準工業地域、その他の地域は住居地域、

都市計画における用途地域について問う

議員 ①会計年度任用職員は勤め先がなくて、正規職員と比べて不均衡である。賃金を上げるなどで不均衡を是正しては。②昇給制度を設けては。

脱コロナに向けて

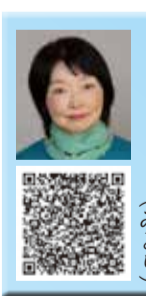


片谷 洋夫議員 (フォーラム)

議員 ①3月13日よりマスクの着用を個人に委ねることになる。トラブルが起きないよう周知を行ってほしいが見解は。②子どもたちへのマスクについて指導は。③市職員のマスク着用は。④市長が率先してマスクを外していくべきと思うがどうか。市長 ①市ホームページや広報などで周知する。②基本的には個人の判断に委ねる。マスクの着用が効果的とする場面に関連する業務ではマスクの着用を推奨する。③場面に適切に判断する。④場面に適切に判断する。教育長 ②マスクの着用について、個人の意思を尊重しつつ、国や都の方針に従い、必要のない時には、マスクを着用しないことについて指導する。マスクを着用していることや、着用していないこと、子どもたちの間で差別、偏見等がないよう適切に指導する。

議員 ①給食の残菜、牛乳などの飲み残しは。また処理費用は。②食べ残しが少なくなるよう生産者などに前授業してもらってはどうか。③学校給食を無償化しては。

健康寿命を延ばす施策について問う



ひだ 紀子議員 (みどり)

議員 ①令和3年度の調理の際の野菜くずと給食の食べ残しは年間約187トン、牛乳の飲み残しは約71トン、処理費用は残菜102.9万円、飲み残し512万円である。②コロナ禍前には地元農家からお話を伺う機会があったので、今後検討する。③年間4億円かかり、財政面で困難である。「他の質問：市のキャッシュレス決済について」

議員 ①3月13日よりマスクの着用を個人に委ねることになる。トラブルが起きないよう周知を行ってほしいが見解は。②子どもたちへのマスクについて指導は。③市職員のマスク着用は。④市長が率先してマスクを外していくべきと思うがどうか。市長 ①市ホームページや広報などで周知する。②基本的には個人の判断に委ねる。マスクの着用が効果的とする場面に関連する業務ではマスクの着用を推奨する。③場面に適切に判断する。④場面に適切に判断する。教育長 ②マスクの着用について、個人の意思を尊重しつつ、国や都の方針に従い、必要のない時には、マスクを着用しないことについて指導する。マスクを着用していることや、着用していないこと、子どもたちの間で差別、偏見等がないよう適切に指導する。

中学校の校則等の見直しはどう進められているか

議員 ①校則等の見直しに生徒たちと取り組んでいると明確にわかる学校が少ないが現状をどう捉えているか。②校則等の見直しのプロセスについて、ホームページ等での公開の現状はどうか。③新町中学校の取り組み、理念を中学校で共有してはどうか。教育長 ①記録に残しておらず見直しの経過を示せない学校もあるが、全ての学校において生徒の意見を取り入れて検討がされている。②校則の見直しのプロセスをホームページ上で公開している学校は2校である。③好事例だと考えるため、中学校全校で情報を共有したい。

議員 ①多摩26市中20市が広報を全戸配布している。しかしわが市では広報が市民の40%に届いていない。現状をどう認識しているか。②命につながる情報もある。「一人も取り残さない市政」掲げているが、新聞を取らない人や高齢者など、取り残しているのではないかと。③市民に広報を届けることは市の責務なのか、サービスなのか。市長 ①戸別配布の周知、補完場所の拡充を行った。市のLINEにも掲載する等、さまざまな媒体による環境の充実を図っており、必要な方には配布できていると考えている。②紙媒体の他に、様々なデジタル媒体を活用し、幅広い年齢層への情報提供に取り組んでいる。副市長 ③広報を発行し市民に情報を届けることは市の責務と捉えている。

横田基地問題について問う

議員 ①旧都市計画法に基づき、昭和26年に、紡績業等の中小工場が集中している地域は準工業地域、その他の地域は住居地域、

議員 ①6機目のオスプレイが配備された。福生市等に情報が提供されたが青梅市はどうか。②基地の機能強化に反対し、市民の見解を市民に発信しては。③PFASについて、市独自に水質調査が必要では。また、都へ基地への立ち入り調査を要請してはどうか。市長 ①青梅市では情報提供を受けていない。②機能強化については日米地位協定に基づき、国家間の合意により実施されていると認識している。安全対策の徹底を求めている。基地に対する市の考えや対応等の情報発信は、周辺自治体を参考にしていく。③令和3、4年度に調査し、暫定目標値を下回っていた。立ち入り調査の要請は考えていない。

議員 ①会計年度任用職員は勤め先がなくて、正規職員と比べて不均衡である。賃金を上げるなどで不均衡を是正しては。②昇給制度を設けては。

議員 ①給食の残菜、牛乳などの飲み残しは。また処理費用は。②食べ残しが少なくなるよう生産者などに前授業してもらってはどうか。③学校給食を無償化しては。

議員 ①令和3年度の調理の際の野菜くずと給食の食べ残しは年間約187トン、牛乳の飲み残しは約71トン、処理費用は残菜102.9万円、飲み残し512万円である。②コロナ禍前には地元農家からお話を伺う機会があったので、今後検討する。③年間4億円かかり、財政面で困難である。「他の質問：市のキャッシュレス決済について」

議員 ①多摩26市中20市が広報を全戸配布している。しかしわが市では広報が市民の40%に届いていない。現状をどう認識しているか。②命につながる情報もある。「一人も取り残さない市政」掲げているが、新聞を取らない人や高齢者など、取り残しているのではないかと。③市民に広報を届けることは市の責務なのか、サービスなのか。市長 ①戸別配布の周知、補完場所の拡充を行った。市のLINEにも掲載する等、さまざまな媒体による環境の充実を図っており、必要な方には配布できていると考えている。②紙媒体の他に、様々なデジタル媒体を活用し、幅広い年齢層への情報提供に取り組んでいる。副市長 ③広報を発行し市民に情報を届けることは市の責務と捉えている。

ひとり親家庭への支援について問う



山崎 哲男 議員 (自民)

議員 ①(一社) 日本シンブルマザー支援協会との連携協定に基づく事業である、ひとり親家庭サポート講座事業の概要は。②令和5年度に行う、訪問型の相談支援事業の計画概要を伺う。③ひとり親家庭への支援について、市長の決意を伺う。

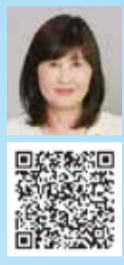
市長 ①「ひとり親家庭の未来を明るく楽しく!!」をテーマに、支援協会代表に講義をしていただいた。会場参加が3人、オンライン参加が7人、後日の動画配信の応募者が16人いた。受講者の中には支援協会の個別相談支援をオンラインにより継続している方もおり、一定の効果があったと捉えている。

②支援協会が育成を進めているひとり親支援の専門相談員である、ひとり親コンシェルジュの活用を考えている。相談者の状況により、自宅への訪問相談や、就職セミナーへ同行する等のアウトリーチ型による支援を検討している。

③ひとり親家庭の子育て環境の改善に向け、施策を着実に実施し、すべての子どもがこの青梅で、将来への希望を持って健康やかに育っていく地域社会の実現を目指していく。



子どもたちの生きる力を育む学校について問う



山内 公美子 議員 (公明)

議員 ①起立性調節障害の児童・生徒の現状を伺う。②起立性調節障害の理解を深め、支援につなげる取り組みを伺う。③総合的な学習(探究学習)の現状と課題を伺う。④探究的な学びを実践する、青梅市の自然を生かした特別校の設置について教育長の見解は。

教育長 ①起立性調節障害が疑われる児童・生徒は約30人確認されており、個々の症状等を踏まえ、柔軟な措置を講じている。②教職員の理解を促し、児童・生徒に寄り添った支援につなげるほか、学校への出欠連絡方法の簡略化等、保護者の負担軽減も検討していく。

③御岳山等を活用した青梅や成木の森活動拠点等での環境教育活動等を実施している。課題は、計画通りに進め過ぎると子どもの興味関心に応じて探究する学習が難しくなる点である。④先進的な不登校特例校の研究を進めていく。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを

議員 ①認知症サポーターの現状を伺う。②今後の取り組みを伺う。企業や店舗に貼る認知症サポーターステッカーへの見解は。③注文をまちがえる料理店にみるまちづくりについて見解は。

市長 ①認知症サポーター養成講座は延べ6455人、キャラバンメイト養成講座は88人が受講している。

認知症サポーター1万人を目指し養成講座受講を働きかけていく。チームオレンジの立ち上げ、認知症カフェの増設に取り組む。次年度、ステッカーを作成、交付していく。

③地域の中で、認知症の方を理解し支えるだけでなく、認知症の方が参加できることは重要である。今後も引き続き認知症の方が生き生きと生活できる地域づくりを目指していく。

給食費や通学費等の補助拡充で、教育・子育てにかかる負担軽減を

議員 ①国や都へ給食費の無償化を要請しては。市で給食費の軽減策を検討してはどうか。②自転車通学者や特認校児童・生徒への補助について、他市の事例を情報収集し検討してほしいが、保護者へアンケート調査をしては。③教育、子育て支援に財源を使うことを求めるがどうか。

教育長 ①要請する考えはない。補助制度等については、財政状況を考慮しながら、他自治体の状況を情報収集していく。

②自転車通学者にはヘルメットの貸与と自転車賠償責任保険の加入、特認校児童へはスクールバスのルートを通し無料利用できるように支援を行っているため、拡大する考えはない。アンケートの実施は考えていない。

市長 ③子ども家庭部の組織について再編拡充を行い、子ども家庭センターを新設する。妊娠から出産、子育て期にかけて切れ目のない支援を行う体制をこれまで以上に強化していく。

高齢者センターの建設や補聴器購入の助成など、高齢者支援を

議員 ①東青梅1丁目に新設する複合施設に高齢者センター機能を検討してほしいがどうか。②沢井地域保健福祉センターを再整備し活用してはどうか。③独自の聴覚検査や補聴器購入の補助制度を実施してはどうか。④高齢者に優しい青梅市にするための、市長の見解を伺う。

市長 ①地域サロンをさらに拡充していく考えであり、新たな文化施設に高齢者センターの機能を加える考えはない。②現在土地建物を一体とした売却に向け検討を進めており、市が再整備をして活用する考えはない。③市内の耳鼻科は5か所のみであり独自検診の実施は難しい。現時点で購入助成をする予定はない。

④健康寿命日本一を目指し、今後も高齢者への健康維持の知識の普及や各種の介護予防事業を実施していく。

コミュニティバスなど公共交通の充実について問う

議員 ①地域公共交通計画より早く公共交通を充実させる必要があるのでは。②マイナンバーカードを持っていないでもタクシーの運賃補助を受けられるようにすべきでは。③グリーンズローモビリティよりワゴンタイプの乗用車の方が実利があると考えるが、選択肢としてあり得るのか。④コミュニティバスの検討を再び始めるべきではないか。

市長 ①有効性等を計画的に十分に検証したうえで、着実に推進していく。②マイナンバーカードの活用はコスト削減や利便性向上等のメリットがあるものと捉えている。③地域住民や警察関係者との協議、検討を進め、地域の特性に見合ったものを選択していく。④公共負担による主要バス路線の維持確保が費用対効果が高いと判断しており、コミュニティバスを検討する考えはない。

議員 ①デジタル技術の今後の活用について、人材、予算の状況、他の部署を巻き込んでICT化していく体制について伺う。②全国的なモデルケースとなるようなデジタルを活用した先進的な取り組みを考えて、デジタル田園都市国家構想交付金の申請にチャレンジしてみたい。

公共施設の在り方について問う

議員 ①公共施設等総合管理計画の公共施設の延べ床面積を30%削減する目標は撤廃すべきではないか。②公共施設が老朽化した場合は統廃合するのではなく、身近な公共施設は地域に残すべきと考えるが市の考えは。③高齢者センターを建設すべきと考えるがどうか。④市民センターは現在の場所にすべて残すことを前提として計画を見直すべきではないか

市長 ①現時点でこの数値目標を撤廃することは考えていない。②公共施設等総合管理計画は令和5年度末までに見直しを行うこととしている。その中で各公共施設の更新も含め、統廃合、長寿命化等計画的に行っていく。③高齢者に特化した高齢者センターを建設する考えはない。④現時点では、適正配置、他施設との複合化を推進するとしており、見直しは考えていない。

デジタルトランスフォーメーションの推進について問う

議員 ①デジタル技術の今後の活用について、人材、予算の状況、他の部署を巻き込んでICT化していく体制について伺う。②全国的なモデルケースとなるようなデジタルを活用した先進的な取り組みを考えて、デジタル田園都市国家構想交付金の申請にチャレンジしてみたい。

持続可能な介護保険制度について問う

議員 ①市の介護予防の取り組みと課題は。②介護予防のPFSについて市の考え方を伺う。③介護事業者が要介護度を改善させるに報酬が上がる仕組みについて市の意見を伺う。

市長 ①75歳在宅高齢者把握訪問等を行っている。一部事業の効果測定ができていないこと、各事業の応募人数が限定されていること、男性や前期高齢者の参加を増やすことが課題である。②有効な手段の一つと考える一方、成果指標の設定、客観的な評価が難しいという側面もあると認識している。③PFSと併せ、先進自治体の取り組みを研究していく。

他自治体の事例調査について問う

議員 ①他市の事例について具

市長 ①有効性等を計画的に十分に検証したうえで、着実に推進していく。②マイナンバーカードの活用はコスト削減や利便性向上等のメリットがあるものと捉えている。③地域住民や警察関係者との協議、検討を進め、地域の特性に見合ったものを選択していく。④公共負担による主要バス路線の維持確保が費用対効果が高いと判断しており、コミュニティバスを検討する考えはない。

市議会の4年間

第18期の市議会議員の任期は、令和元年5月1日に始まり、令和5年4月30日をもって満了となります。今期の市議会の4年間には、主に次のような動きがありました。

Table with 2 columns: 議会 (Council), 審議案件 (Cases for Review). Rows include 本会議 (Main Conference), 委員会等 (Committees), 市長提出議案 (Cases Proposed by Mayor), etc.

Table with 2 columns: 一般質問 (General Questions), 議長・副議長 (Chairman/Vice-Chairman). Rows include 質問者数 (Number of Questioners), 質問項目 (Question Items).

Table with 2 columns: 各年の主な動き (Main Movements by Year), 令和元年 (Reiwa 1st Year). Rows include 初議会・議会人事 (First Council Meeting/Council Personnel), 議会会派 (Council Groups), etc.

Table with 2 columns: 令和元々2年 (Reiwa 1st Year), 令和元々3年 (Reiwa 2nd Year), 令和元々4年 (Reiwa 3rd Year). Rows include 議長 (Chairman), 副議長 (Vice-Chairman).



全員がマスクを着用して開催 (令和2年2月定例議会)



普通救命講習会

体的にどう調査しているのか。
②市の審議会、委員会等でも、現地視察等をしてメンバーの知見を高める必要がある。
③国や都のモデル地域等の公募はどう情報収集しているのか。

市長 ①電話や一斉メール等の活用、多摩地域のさまざまな協議会等で情報交換等をしている。また、担当職員による近隣自治体への訪問や国内研修制度も活用している。
②外部委員による先進自治体等への視察は一定の必要性があると認識している。今後各種審議会等で意見を聞き検討していく。

③多摩地域の自治体の協議会等や、包括連携協定締結事業者からの情報提供、担当者による各都へ問い合わせ等を行っている。
青梅市地域公共交通計画(案)について問う
①デマンド交通の早期実現、グリーン・スローモビリティ、モノレールなど

ぬのや 和代議員 (立憲) の写真とQRコード

議員 ①早期にデマンド交通の実証実験を行い、将来的には市全体に広め、交通不便を解消しては。
②グリーン・スローモビリティを導入する理由を伺う。観光資源として活用しては。
③青梅市東部地域への多摩地域都市モノレールの延伸を関係機関へ提案してはどうか。

市長 ①デマンド型交通の検討を含め、地域公共交通計画を着実に推進していく。
②低炭素型、脱炭素型の持続可能な地域社会の実現、地域交通から考えるまちづくりの活性化に寄与すると捉えている。観光面での活用も選択肢の一つと考える。

③多摩地域都市モノレール等建設促進協議会を通じ、箱根ヶ崎方面、町田方面及び八王子方面の延伸を国、東京都、多摩都市モノレール株式会社へ要望している。
バリアフリーのまちづくりを
一歩道、点字ブロック、
体育館トイレ、市民センターの
エレベーター設置

議員 ①青梅駅前や東青梅駅前の歩道に早急に点字ブロックを整備してほしいがどうか。
②総務省の地方財政措置も活用し、郷土博物館や市立美術館に手すりを設置してはどうか。
③住友金属鉱山アリーナ青梅1階にトイレを移設してはどうか。
④市民センターにエレベーターを設置してほしいがどうか。

市長 ①今後、視覚障害者の利用実態等を調査し、関係機関と必要に応じ協議していく。
③すでに1階にトイレがあるため、現時点では移設の考えはない。
④現時点では計画はないが、今後、大規模改修を行う必要性が生じた際には配慮に努めていく。
教育長 ②展示品の運搬スペース確保のため、片側に手すりを設置している。今後も来館者の状況に応じ、職員が丁寧に対応していく。

AED(自動体外式除細動器)活用について問う
議員 ①市内のAEDの設置数、年間講習数、受講者数は。
②市内のAEDの使用実績は。
③新型コロナウイルス集団接種会場での死亡事故の際、AEDは使わなかったのか。
市長 ①市内公共施設69か所、総合病院1台、イベント等へも貸し出している。令和4年度は市民向け講習会3回31人、市職員向け講習会2回37人が受講した。
②実績は把握していないが、昨

年12月御岳山で意識不明の男性に対し、消防団員が市のAEDを使用したとの報告を受けている。
③使用を試みたものの、「ショック不要」との解析結果により電気ショックは発動しなかった。「他の質問：リハビリ病院、老健への転院に際する資金相談の充実を」

公園、スポーツ施設等の管理について問う
議員 ①来年度はスポーツ施設の指定管理者の更新だが課題は。
②ドッグランについての検討は。
③公園とスポーツ施設は担当課が分かれている。密な連携が必要だが、見解を伺う。
④公園とスポーツ施設の包括的な委託による指定管理者制度の導入を検討してはどうか。

鴻井 伸二議員 (公明) の写真とQRコード

市長 ①大きなトラブルはなく、利用者アンケートの結果も良好のため、指定管理者制度の継続に特に課題はないと捉えている。
②青梅市に見合った事例を参考に設置について検討に努める。
③併設する公園の管理、運営については、担当部署が連携し、適正な業務運営を行っていく。
④青梅市公園条例の改正の検討と併せて包括的な委託についても検討していく。

地域公共交通計画について問う
マイナンバーカードを活用した乗合タクシー等
議員 ①コミュニケーションバスの検討が見送られた理由を伺う。
②マイナンバーを活用したタクシー補助の検討状況を伺う。
③電動キックボード等のパーソナルな交通サービスを安全に活

用するための体制を作っては。
④地域公共交通計画の各施策の早期実現への市長の決意を伺う。
市長 ①過去に委員会を設置し、検討した結果、既存バス路線維持に多額の公共負担をしていること等から導入を見送っている。
②昨年前橋市を視察した。今後は、課題を把握し、DX戦略の一つとして検討を進め、令和7年度の導入を目指していく。
③交通公園等での走行講習、走行体験の体制については、関係機関と協議していく。
④既存の公共交通サービスの改善・充実を図るとともに、本計画の各施策を着実に実施し、公共交通がなくなり、どこにでも行けるまちを目指していく。

ハラスメント相談の
アクセス改善を
議員 ①相談員の周知の状況は。
②就労時間外でも直接相談員にアクセスできる方法が必要では。
③ハラスメント相談等の外部委託を検討してはどうか。
市長 ①安全衛生だよりやハラスメント委員名簿のチラシを各課に配布し周知を図っている。
②相談員は原則勤務時間内での対応となるが、帰宅した後に携帯電話等から連絡することも可能である。今後は、チラシに相談員の内線電話とともにメールアドレスも記載していく。
③総合病院や他市の事例等の情報収集に努め、相談しやすい環境づくりに向けた検討を進める。「他の質問：学校の遊具等の更新について問う」

「健康なまち青梅をめざして」今後の施策・事業展開について問う
小山 進議員 (自民) の写真とQRコード
議員 ①「健康なまち青梅をめざして」に対する市長の気持ち等を伺う。また、これを踏まえた新年度の施策は。
②健康を培うには、個別的なプログラムを継続的に実施していくことが大切であると考えているが、見解を伺う。
③行政と医療、検査、運動の関係機関が連携した長期的な事業を展開できないか。
市長 ①生涯現役で生き生きと暮らせることが重要であると考える。新年度は健康ポイント事業を開始するほか健康体操等の各種教室の実施やがん検診等の受診率向上に努めていく。
②その方に合った健康づくりを継続していくことは重要である。まずは市民の健康に対する意識の向上と健康づくりの習慣化を図り、検診の受診や健康相談につなげていきたいと考えている。
③次年度以降プロジェクトチームを設置し調査、研究していく。

姉妹都市友好のワイン「ポッパルトの雫(リースリング)」について問う
議員 ①ポッパルトの雫の事業主体、市の負担する経費を伺う。
②この事業への評価、将来は。
③ポッパルト新市長へポッパルトの雫についてお伝えし、国際交流を深めてほしいがどうか。
市長 ①ワイン販売の収益を自立センターに活用していただくため、「ぶどう樹の栽培および経営管理に関する覚書」を交わしており、事業主体は青梅市社会



福祉事業団である。市の経費は本年度予算では人件費や業務委託料等、計543万円余である。
②姉妹都市交流事業として極めて重要なものと考えている。今後も利益を追求することなく、自立センターや関係者の方々と事業を続け、青梅ブランドとして、より磨き上げていく。
③本年5月ポッパルト市に訪問しお伝えし、さらに交流事業を充実させ、絆を深めていきたい。

浜中市政2期目について問う
天沼 明議員 (自民) の写真とQRコード
議員 ①2期目を振り返り、取り組んできた施策を伺う。
②残された任期中、市政運営にどのように取り組んでいくのか。
③3期目への出馬表明と受け止めてよろしいか。
市長 ①新型コロナウイルス感染症の蔓延からいかに市民の生命と暮らしを守るかに主眼をおき、私自ら先頭に立ち、総力を上げて対応してきた。また、子育て支援、圏央道青梅インターチェンジ北側における物流拠点整備の取り組み、新病院建設への着手、モーターポート競走事業の収益拡大、吉川英治記念館を中心とした地域のにぎわい創出、旧吉野家住宅の整備、梅の里の再生等を着実に進めてきた。
②次の世代にも夢と理想を大切に引き継いでいきたい、青梅を楽しみながら健康やかに、安心して暮らし続けていきたいという思いをしっかりと持ち続け、引き続き、一つひとつの課題解決に向け、誠心誠意、取り組んでいく。
③第7次総合長期計画に掲げる

【令和2年】
2月▼新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月定例会議から全員がマスクを着用して開催
3月▼沢井保健福祉センターおよび小曾木保健福祉センター廃止
5月▼新型コロナウイルス対策特別委員会を設置
▼青梅市新型コロナウイルス対策助合い基金条例を可決(制定)
8月▼わがまち応援券として、プレミアム付商品券および宿泊券を販売
9月▼青梅市吉川英治記念館オープン
10月▼青梅市立小・中学校GIGAスクール構想ネットワーク環境整備業務委託にかかる契約の締結についてを可決

【令和3年】
1月▼青梅市立総合病院の新病院建設工事着工
▼本庁舎1階北側に窓口番号案内システムを導入
3月▼多様な人材が活躍しやすい環境を整える観点から、青梅市議会会議規則の一部を改正
▼障がいのある人も障がいのない人もその人らしく暮らせる共生のまち青梅市条例を可決(制定)
5月▼正副議長選挙等を含む議会人事

【令和4年】
2月▼青梅市議会会議規則の一部を改正し、議会の会議において、タブレット型端末機器の情報通信機器を使用するに当たっての所要の規定を整備
▼議員研修会「タブレット型端末操作研修会」を開催
▼令和4年2月定例会議からタブレット型端末の使用を開始
3月▼「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議」を可決
5月▼前副議長の辞職に伴う議会人事
▼市議会だよりの一般質問欄に各議員の顔写真および一般質問映像のQRコードを掲載
6月▼福祉文教委員会研修会「いじめ防止対策について」を開催
11月▼タブレット型端末を利用した災害対応研修を実施
▼青梅市議会災害対応方針に基づき、災害対応訓練を実施

【令和5年】
2月▼令和5年2月定例会議から、議案書等について一部を除きペーパーレス化を実施
▼「青梅市議会史6」を発刊

まちづくりを、私自ら先頭に立て牽引していくため、強い決意を持ち、3期目に挑戦する所存である。



審議された議案および陳情の議決結果

◆賛否が分かれた議案◆

[○…賛成 ×…反対]

Table with columns for district, proposal number, proposal name, decision result, and individual council members' votes (寺島和成, 山崎哲男, etc.).

※会派の表示は次のとおりです。【自民…自民クラブ(無所属8人、自民党3人)、公明…公明党(4人)、市フ…市民フォーラム青梅(3人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオリーブズマン(1人)、立憲…立憲民主党(1人)】

◆全会一致で可決または同意された議案◆

Table with columns for district, proposal number, proposal name, and decision result for various proposals (議案82-116).

※委1…委員会提出議案第1号

◆5月招集議会会議予定◆

Table with columns: 月日(曜日), 時間, 会議, 備考. Shows meeting on 5/12 (Fri) at 10:00.

◆6月定例議会会議予定◆

Table with columns: 月日(曜日), 時間, 会議, 備考. Shows meetings from 6/9 to 6/26.

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください



【全員協議会から】3月7日に開催された全議員協議会での提出事項は次のとおりです。【市長提出事項】市長の姉妹都市ポツバルト市への訪問について

【議長提出事項】東京たま広域資源循環組合議会議員からの報告について 【特別委員会から】総合病院建替特別委員会(3月13日) 新病院建設工場の進捗状況について